

## カナダのパッキングプラントの口蹄疫騒ぎ

先週初め、6月21日(月)にカナダのウエスタンホッグエクスチェンジ社経営の食肉センター及び周辺荷降ろし施設が口蹄疫の発生騒ぎで一時閉鎖されました。観察した獣医師によると、下痢、跛行、病変などが極めて口蹄疫を疑う症状だったそうです。カナダ連邦食品監察局(CFIA)の検査所で詳しい検査が行われ、最終的に口蹄疫は「シロ」と判断が下されましたが、危機管理の重要性が叫ばれています。結果に基づき解除になったのが水曜日の23日だったので、プラントの操業停止だけでなく1300人の従業員にも多大な被害がありました。彼らは徹底的に車ごと消毒されたあと家に送り込まれ、2日間待機状態となったのです。初動の診断ミスや、検査に時間がかかってしまったことも問題ですが、いざとなると大変な損失を被ることを改めて認識しなければならないという教訓を残したようです。

(Pig Progress.net, 7月1日より)

2010年7月 グローバルピッグファーム(株)